

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人ほほえみ	代表者	上野利恵子	法人・事業所の特徴	小規模多機能ホームなごみでは、介護が必要な状態になった時でも住み慣れた地域での生活を継続していけるよう、「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に組み合わせてサービスを提供します。また、サービス付き高齢者向け住宅を併設し、小規模多機能のサービスと組み合わせて24時間安心した生活を提供しています。
事業所名	小規模多機能ホームなごみ	管理者	庄島司		

出席者	市町村職員	知見を有する者	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	人	1人	人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・地域かかわりシート①を配布する時は改善計画に対して取り組んだ内容がわかるように記入した用紙を配付します。	・改善計画に対して取り組んだ内容がわかるよう地域かかわりシート①を配布する際にサービス評価総括表の「前回の改善計画に対する取組み・結果」を記入して配布することで、意見の聴取がスムーズになりました。	・特になし。	・事業所自己評価を開始する前に全職員へ外部評価に関する講習を行い、内容と精度の向上に努めます。また、講習は全職員が受講できるよう日程を調整します。
B. 事業所のしつらえ・環境	・職員が地域行事に関わっていくことで地域の方々と顔見知りの関係を築き、地域の方々が訪れやすい事業所を目指します。	・地域の社会資源を活用して、買い物をしたり、地域の社会資源活用のための連絡調整を行いました。地域で知っていただけたことで利用者を通じて前年より多くの方が事業所に訪れていただけました。	・利用者や家族を通じて前年度より多くの方が事業所を訪れました。 ・事業所は、地域にも知られていると思います。	・事業所へ地域の方々が訪れた時に不快な思いをしないよう整理整頓と環境整備、清掃活動を行っていきます。
C. 事業所と地域のかかわり	・「隣組」に加入することで地域に関わる機会を設けて、地域の方々と顔なじみの関係を築き相談しやすい関係性を目指します。	・城島校区の「校区コミュニティ」へ加入することができました。 ・運営推進会議の機会を通じて地域の方々が事業所へ相談しやすいような会議の雰囲気・内容作りを行いました。	・地域では、「町内会」や「隣組」より「校区コミュニティ」の名称が馴染みがあります。	・事業所は、法人内の相談窓口の一つとして、地域からの相談へ対応していきます。また、必要に応じて他部署と連携を取り、本人・家族、地域の方々が安心して暮らせる地域づくりを行います。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者の希望に沿って、地域行事へ参加ができるよう事前に計画を立てて勤務等を調整することで行事参加と、参加のための支援を行っていきます。	・地域行事の把握は出来ましたが、天候等によって参加する事ができませんでした。	・地域の行事は、天候で中止や延期になりました。	・利用者の希望に沿って、地域行事への参加と地域の社会資源活用のための連絡調整や付き添い等必要な支援を行います。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議や地域ケア会議を通して地域の心配な方の情報を把握し、できる限り関わりを持って相談等の対応をしていきます。	・地域の心配な方の相談を受けた時は、適宜対応を検討し、事業所だけではなく法人全体で支えることができるように検討しました。	・特になし。	・運営推進会議では、事業所の報告だけでなく、地域の方々の困りごとや相談等意見を積極的に収集し、解決に向けた検討の場の連絡調整等の取組みを行っていきます。
F. 事業所の防災・災害対策	・年2回の防災訓練の際には回覧板等を使用して、地域の方々への参加を促すことで地域での事業所の役割を伝えていきます。	・防災訓練の際、地域への連絡を行う事ができませんでした。	・地域の防災訓練はありません。	・運営推進会議の中で、防災計画の内容や事業所の防災訓練についての情報を地域の方々に向けて発信していきます。